

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育内容総論 Foundations of Contents of Child Care		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	中津 愛子	
概要				
<p>養護と教育が一体となって展開される保育の基本について学び、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識して、具体的な保育のねらいと内容を考えるための基礎的な力を養う。 小グループでのディスカッションを通して指導案作成、環境構成を行う。また、指導計画に基づき、グループで模擬保育を実践し、実践後の評価を行なうことで、計画の改善を図るまでの過程を学ぶ。</p>				
到達目標				
<p>(1) 保育所保育指針に示されている「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」を関連付けて説明できる。 (2) 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体構造を説明できる。 (3) 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景と保育内容の歴史の変遷について述べることができる。 (4) 養護と教育が一体となった保育を展開するために、子どもの自発的な活動の基盤となる環境構成、教材準備、保育者の援助の基本を理解し、保育実践に応用することができる。 (5) 保育の多様な展開について具体的に述べるができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容を理解する</li> <li>2 保育内容の歴史の変遷とその社会的背景を学ぶ</li> <li>3 子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本を学ぶ</li> <li>4 養護と教育が一体となって展開する保育について学ぶ</li> <li>5 保育場面の観察を通し、子どもの主体性を尊重する保育の展開を学ぶ</li> <li>6 子どもの発達や生活の連続性を踏まえた保育の展開を考え、指導計画を作成する</li> <li>7 養護と教育が一体となった保育を展開するための環境構成、教材作成を行う</li> <li>8 子どもの自発的な活動を支えるための保育者の援助についてグループで検討する</li> <li>9 子どもの活動を予想しながら、遊びを通して総合的に保育する際の留意点を考える</li> <li>10 学生同士で模擬保育を行ない、個と集の発達を踏まえた保育について実践的に学ぶ</li> <li>11 模擬保育を振り返り、グループ内で自己評価を行い、改善点を話しあう</li> <li>12 保育実践を振り返り、改善点をもとに新たな指導計画を作成する</li> <li>13 保育の多様な展開 ー長時間の保育、病児保育、保護者のニーズに即した保育とはー</li> <li>14 保育の多様な展開 ー多文化共生の保育・特別な配慮を必要とする子どもの保育ー</li> <li>15 家庭や地域、小学校との連携を踏まえた保育の実践のDVDを視聴し、具体的に学ぶ</li> </ol>				
テキストおよび 参考文献	<p>テキスト：授業中に資料を配布する 参考文献：開仁志 編著「保育指導案 大百科事典」一藝社 森上史朗・大豆生田啓友 編「よくわかる保育原理」ミネルヴァ書房 出雲美枝子著「実習おまかせ Book」ひかりのくに</p>			
メッセージ な	<p>指導案の作成、教材作成、保育実践は、少人数グループでの演習としますので、それぞれの学生が積極的にアイデアを出し実践するようにしてください。 保育士証：必修科目</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 保育所保育指針に示されている「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」を関連付けて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	15%
(2) 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体構造を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		15%
(3) 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景と保育内容の歴史的変遷について述べることができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		15%
(4) 養護と教育が一体となった保育を展開するために、子どもの自発的な活動の基盤となる環境構成、教材準備、保育者の援助の基本を理解し、保育実践に応用することができる。	環境構成、教材準備、保育者の援助の基本を十分に生かした模擬保育が実践できる。	環境構成、教材準備、保育者の援助の基本をほぼ理解して模擬保育が実践できる。	環境構成、教材準備、保育者の援助についていくつか不足するところがあるが、模擬保育が実践は実践した。	模擬保育を実践していない。	模擬保育の実践（技能・表現力・判断力）	15%
					指導案（思考力・表現力）	20%
(5) 保育の多様な展開について具体的に述べることができる。	保育の多様な展開について現状を正しく理解したうえで、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	保育の多様な展開の現状についてほぼ誤りなく認識し、大きな論理的な問題もなく、自分の考えを述べている。	保育の多様な展開についての認識にいくつか誤りがあり、誤字・脱字もあるが、最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	課題レポート（関心・意欲・思考力・表現力）	20%